

氏名(本籍)	相川 聖(神奈川県)
学位の種類	博士(体育科学)
学位記番号	甲第89号
学位授与年月日	令和3年3月15日
学位授与の要件	文部科学省令学位規則第4条第1項該当
学位論文題目	日本人体操選手のイメージトレーニングに関する研究
審査員	主査 日本体育大学 教授 西山 哲成 副査 日本体育大学 教授 杉田 正明 副査 日本体育大学 教授 須永 美歌子

### 《論文審査結果の要旨》

本博士学位申請論文では、アスリートのイメージ能力を測定する心理尺度を作成し、その心理尺度を用いて日本人体操選手のパフォーマンス向上に寄与するイメージトレーニングの有効性を検討した。

具体的に、本博士学位申請論文の第2章では、計量テキスト分析を利用し、テキストデータで測定したアスリートのイメージ利用目的を分析し、競技場面と競技特性によるイメージ利用目的の特徴について検討した。その結果、相手の動きの予測や反省や振り返り、試合の想定といった内容が示された。また、クロズドスキルスポーツの特有のイメージ利用目的としては演技や技を成功させることやレース展開を予測することなどが挙げられた。

第3章では、The Sport Imagery Ability Questionnaire (SIAQ) の日本語版の心理尺度を作成し、アスリートの競技レベルや競技種目によるイメージ能力の特徴について検討した。その結果、日本語版SIAQはスキルイメージと戦術イメージ、目標イメージ、統御イメージの4つの下位尺度で、日本人アスリートのイメージ能力を測定できることが明らかとなった。

第4章では、イメージ能力(日本語版SIAQ)と体操競技のパフォーマンス、自己効力感、競技中の思考との関係性を検討した。その結果、スキルイメージは心配・懸念と後退・消極的姿勢に負の影響を与えた。統御イメージは、体操競技の自己効力感に正の影響を与えた。目標イメージは、体操競技の自己効力感と促進的教示、後退・消極的姿勢、自信、体操競技のパフォーマンスに正の影響を与えた。

第5章では、イメージ能力(日本語版SIAQ)、競技における自信と不安、体操競技の演技の得点を評価指標とし、男子体操選手における3週間のイメージトレーニングの有効性を検討した。その結果、IT群はスキルイメージと戦術イメージ、目標イメージ、統御イメージの得点、自信の得点が向上するが、統制群はいずれの得点も変化しないこと、IT群はパフォーマンスを向上させることが明らかとなった。

以上のことから、本博士学位申請論文で得られた知見は、スポーツの実践場面に応用が可能であり、有効なイメージトレーニングの指導に役立つものと期待される。また、審査会では、ご自身の本博士学位申請論文の内容を紹介し、審査員からの質問に対しては適切に回答されており、博士(体育科学)にふさわしい能力を有していることが確認された。主な質問は、日本人体操選手に必要なイメージトレーニ

ングの特徴、具体的に効果を示したイメージトレーニングの方法、イメージに関する脳機能の特徴を確認するものであった。なお、本博士学位論文の第2章の研究内容は日本体育大学スポーツ科学研究、第3章は体育学研究、第4章はThe Sport Psychologistに受理され、専門分野では学術的に評価されている。

以上、審査の結果、申請者は博士(体育科学)の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。

《最終試験結果》

合格・不合格

令和3年1月14日